

キリギリス

バッタ目 キリギリス科

観察のレベル ★★★★★

見つけるポイント!

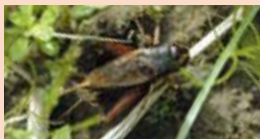
- 場所 …草原・川原
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …少ない

川原や草原で鳴いているこん虫としてよく知られていますが、山にもいます。住んでいる場所は、主に日当たりのよい草原ですが、トノサマバッタなどとくらべると、ススキなど背の高い草の根本の所によくいます。オスは「…チョッ、ギーッチョッ」と大きな声で鳴きますが、メスは鳴きません。草上に姿をみせることは少なく、体の色も緑と茶のまだらもようなため、鳴き声はしても姿は見えないことが多くあります。人が近づくと鳴くのをやめてしまうので、キリギリスを見つけるのは大変です。草原などが減ったことや農薬などにより、見つけにくくなっています。

とくちょう

大きなうしろ足と長い顔、平べったい感じ。茶色の混じった緑色。草原などにいるが姿が見つけにくいので声でチェックしてください。

注意! まちがいやすい生きもの



コオロギの仲間
茶色で体は丸いつつのような形
「コッココ」と鳴く



ウマオイの仲間
「スイー---チョン」、
「シッチョン」などと鳴く



キリギリスは童話などにも出てくる有名な虫ですが、姿を見た人は少ないのではないのでしょうか。声が聞こえたら、がんばって姿も探してみてください。そお〜と近づけるかどうかポイントです。



ナガサキアゲハ

チョウ目 アゲハチョウ科

観察のレベル ★★★★★

見つけるポイント!

- 場所 …林縁・草地
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …ふつう

日本では南の地域に住むチョウです。江戸時代には九州より南にしか住んでいませんでした。1940年代には山口県西部や高知県南部、1960年代には淡路島へと、すこずつ北にひろがってきており、2000年代の初めには福井県や神奈川県で冬ごししたほか、近年では関東まで広がっています。平均気温が高くなったことで北の方に広がってきていると考えられていて、温暖化をしめす生きものとして注目されています。



温暖化により冬が暖かくなって、もともと南の暖かいところにすんでいた生きものたちが、少しずつ北の方にすむ場所を広げています。ナガサキアゲハもその一つではないかと考えられています。

他にも調べてほしい生きもの



キョウチクトウスズメ
幼虫が街路樹でよく見かけるキョウチクトウを食べるガの仲間



キオビエダジャク
幼虫がイヌマキの葉を食べるきれいなガの仲間

どちらも温暖化をしめすと考えられている

大きな黒いアゲハチョウの仲間、後の羽に棒状の出っぱりがないため、飛んでいるときよく見ると見分けることができます。黒い色で、白と赤の斑点が目立ちます。白色が強くて灰色がかって見えるものもいます。

とくちょう

注意! まちがいやすい生きもの

カラスアゲハ
クロアゲハなど
黒色の大きなアゲハチョウ、後の羽には棒状の出っぱりがある



草原の生きもの